

会 員 各 位

社団法人日本形成外科学会  
理事長 平野 明喜

## 日本がん治療認定医教育セミナーおよび試験の申込について

2011年度日本がん治療認定医機構による「がん治療認定医」の教育セミナーおよび試験の申込が8月1日より受付開始となります。受付期間は2011年8月1日～8月31日、定員に達した時点で締切となります。日本がん治療認定医機構の申込画面 ([http://www.jbct.jp/sys\\_auth\\_app11.html](http://www.jbct.jp/sys_auth_app11.html)) よりお申込み下さい。

日本がん治療認定医機構は、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、全国がん(成人病)センター協議会(全がん協)の協力の下、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師の養成を目的にしております。認定医制度は、1) 暫定教育医の認定、2) 研修施設の認定、3) 認定医の新規認定から構成されています。部位別の治療に関しては、1) 消化管、2) 肝・胆・膵、3) 呼吸器、4) 乳腺、5) 血液、6) リンパ腫、7) 泌尿器、8) 婦人科、9) 頭頸部、10) 骨軟部・皮膚が対象となります。

がん治療認定医の申請資格には、1) 所属する基本領域の学会の認定医又は専門医の資格を有すること、2) 機構が開催する教育セミナーに参加し、認定試験に合格していること、3) 機構の定める認定研修施設において、『研修カリキュラム』に基づくがん治療研修を終了し、指導責任者による証明がなされていること、4) 2006年1月1日から申請時までの期間に、学会発表(「がん診療」についての業績2件)、論文発表(「がん診療」についての業績1件)、5) 2006年1月1日から申請時までの期間に機構指定の学術単位を合計で20単位以上取得していることを有することなどが必要ですが、日本形成外科学会は基本領域の学会として認められております。

形成外科診療において、皮膚軟部組織腫瘍の外科的治療および各部位の癌治療における再建外科部門は非常に重要な分野を占めております。この現状を考えますと、多数の形成外科医が、本認定医制度に参加されることが望まれます。

同制度の詳細に関しましては、日本がん治療認定医機構 (<http://www.jbct.jp>) のホームページよりご確認下さい。